

令和7年度 教育活動評価（調査）結果について

- 1 実施日：令和7年12月1日(月)～12月16日(火)
- 2 回答率：生徒91.1%（前年比-2.1%）、保護者50.9%（-6.0%）、教職員100.0%（±0.0%）
- 3 質問項目：令和7年度「教育活動評価アンケート」質問項目一覧

質問項目（○数字は質問順）	質問内容（全ての質問の冒頭に「仙台大明成高校では、」を足して答える。）
1 学校運営	⑧防災教育 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている
	⑨開かれた学校づくり ホームページやお便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている
	⑩施設設備 本校の令和3年度から新しくなった施設・設備はよく整備されている
	⑭総合満足度 全学年4つの学科となり、所属している学科の学習や取組は充実している
2 重点年度項目の	⑦特色ある学校づくり 『建学の精神』に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる
	⑪いじめ問題 学校として、日ごろからいじめの早期発見に取り組んでいる
	⑬ICT教育 授業はICT機器を積極的に活用して展開されている。
3 学校諸活動	①学習指導 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている
	②生徒指導 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている
	④教育相談 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる環境が整っている
	⑤部活動 部活動は活発に行われている
	⑥学校行事 本年度実施できた各種行事は、豊かな人間性の育成という目的を達成している
4 高大連携	③進路指導 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている
	⑫高大連携 附属高校化して仙台大学との連携・交流活動が進み、授業や実習などで成果があがっている
⑮自由記述（生徒） （保護者） （教職員）	日常の教育活動・学校運営について、御意見・御提言があれば記入してください。 日常の教育活動・学校運営について、御意見・御提言があれば記入してください。 日常の教育活動・学校運営の改革に向けた御意見・御提言があれば、記述願います。

4 全体の分析結果

- ※ 肯定的評価：「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」を合わせた評価
 否定的評価：「当てはまらない」、「あまり当てはまらない」を合わせた評価

（1）肯定的評価の割合が高い項目と低い項目 [それぞれ上位3項目]

	肯定的評価の割合が高い項目	肯定的評価の割合が低い項目
生徒	① 項目10 施設設備 (92.2%) ② 項目5 部活動 (90.8%) ③ 項目14 ICT教育 (90.5%)	① 項目11 いじめ問題 (75.1%) ② 項目8 防災教育 (75.9%) ③ 項目1 学習指導 (77.9%)
保護者	① 項目13 ICT教育 (96.4%) ② 項目10 施設設備 (96.1%) ③ 項目14 総合満足度 (95.5%)	① 項目11 いじめ問題 (78.5%) ② 項目8 防災教育 (78.7%) ③ 項目12 高大連携 (84.1%)
教職員	① 項目7 特色ある学校 (93.1%) ② 項目4 教育相談 (91.4%) ③ 項目13 ICT教育 (89.7%)	① 項目9 開かれた学校づくり (74.1%) ② 項目8 防災教育 (77.2%) ③ 項目2 生徒指導 (82.8%) ③ 項目12 高大連携 (82.8%)

(2) 前年度肯定的評価との比較（増減差が大きい項目ベスト3）

		比較【増加】			比較【減少】				
		前年度と比較して	今年度	前年度	比較差	前年度と比較して	今年度	前年度	比較差
生徒	① 項目13 ICT教育	90.5%	84.6%	5.9%					
	② 項目1 学習指導	77.9%	72.9%	5.0%					
	③ 項目7 特色ある学校	84.1%	79.2%	4.9%					
保護者	① 項目1 学習指導	90.0%	82.5%	7.5%					
	② 項目13 ICT教育	96.4%	89.0%	7.4%					
	③ 項目3 進路指導	87.8%	81.7%	6.1%					
教職員	① 項目11 いじめ問題	87.9%	78.9%	9.0%	① 項目8 防災教育	77.2%	89.2%	-12.0%	
					② 項目1 学習指導	84.2%	95.2%	-11.0%	
					③ 項目14 総合満足度	87.7%	98.4%	-10.7%	

5 各学科毎の回答（別添「資料1」参照）

6 全体の分析・考察

- ① 肯定的評価（全項目の平均）について、生徒・保護者では前年度より増加しているが、教職員は約5%減少した。特に、生徒・保護者では昨年ベスト3にはなかった「ICT教育」が上位となり、教職員も含めて3者とも上位に入ったことは特徴的である。
- ② 「防災教育」の肯定的評価が3者とも低かった（70%台）。また、生徒・保護者とも「いじめ問題」「防災教育」の順で肯定的評価が低かったことが課題である。
- ③ 前年度との比較において肯定的評価の割合が増加した項目（第1位）は、生徒「ICT教育（前年度比+5.9%）」、保護者「学習指導（同+7.5%）」、教職員「いじめ問題（同+9.0%）」であった。3者いずれの項目も、前年度は増加項目（ベスト3）に入っていなかった項目である。
- ④ 前年度と比較した3者の回答率について、生徒は2.1%減少、保護者は6%減少した。保護者に対する紙媒体での案内を止め、メール配信のみとしたことが要因と考えられる。一斉メールでの協力催促を継続し今後の傾向を見守りたい。生徒・教職員は回答可能な総数のほぼ全数の回答が得られた。生徒については、学級での一斉実施、担任からの声かけの協力を徹底したい。
- ⑤ 今年度の肯定的評価（全質問項目の平均）は、生徒84.3%(前年度81.6%)、保護者89.3%(前年度84.8%)、教職員85.5%(前年度90.6%)で、生徒・保護者は増加、教職員は減少した。
- ⑥ 3者ともに肯定的評価の割合が高い項目として「ICT教育」（前年度は「総合満足度」）、肯定的評価の割合が低い項目として「防災教育」（前年度は「いじめ問題」）があげられた。